

美作監査第29号  
令和5年8月17日

美作市長 萩原 誠司 殿

美作市監査委員 東内 義典  
美作市監査委員 和田 広宣

令和4年度美作市公営企業会計決算審査意見について

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第30条第2項の規定により、審査に付された令和4年度美作市公営企業会計決算及び各証書類その他関係書類を審査したので、その結果について次のとおり意見書を提出します。



令和4年度

美作市公営企業会計決算審査意見書

美作市水道事業会計

美作市病院事業会計

美作市下水道事業会計

美作市監査委員

## 目 次

第1	基準に準拠している旨	1
第2	審査の種類	1
第3	審査の対象	1
第4	審査の着眼点	1
第5	審査の主な実施内容	1
第6	審査の実施場所及び日程	1
第7	審査の結果及び意見	1
1	美作市水道事業会計	2
(1)	事業概要	2
(2)	予算の執行状況	3
(3)	経営成績	5
(4)	財政状況	7
(5)	むすび	9
2	美作市病院事業会計	10
(1)	事業概要	10
(2)	予算の執行状況	10
(3)	経営成績	12
(4)	財政状況	14
(5)	むすび	16
3	美作市下水道事業会計	17
(1)	事業概要	17
(2)	予算の執行状況	18
(3)	経営成績	23
(4)	財政状況	26
(5)	むすび	28

(注) ① 説明文中の金額は原則として万円単位で表し、万円未満については切り捨てた。  
このため計数が一致しないことがある。

② 比率・割合は、原則として小数点第2位を四捨五入した。このため計数が一致しない  
場合がある。

③ 各表中比較増減の減は、△印で表示した。

④ 1.事業概要、2.予算執行状況は消費税込みで示し、3.経営成績、4.財政状況は消  
費税抜きで表示した。

⑤ 「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものである。

⑥ 「-」は、該当数値のないもの、又は算出不能なものである。

⑦ 「皆増」は、前年度に数値がなく全額増加したものである。

⑧ 「皆減」は、当該年に数値がなく全額減少したものである。

## 令和 4 年度美作市公営企業会計決算審査意見

### 第 1 基準に準拠している旨

監査委員は、美作市監査基準（令和 2 年美作市監査委員告示第 1 号）に準拠して審査を行った。

### 第 2 審査の種類

決算審査（地方公営企業法（昭和 27 年法律第 292 号）第 30 条第 2 項）

### 第 3 審査の対象

令和 4 年度 美作市水道事業会計決算  
令和 4 年度 美作市病院事業会計決算  
令和 4 年度 美作市下水道事業会計決算

### 第 4 審査の着眼点

有効性、効率性、経済性に注目し審査した。

### 第 5 審査の主な実施内容

実査、立会、確認、証憑突合、帳簿突合、計算突合、質問、観察、閲覧等の手法により、効果的かつ効率的に十分かつ適切な審査の証拠を入手して審査を実施した。

また、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 235 条の 2 第 1 項の規定により実施した例月現金出納検査、同法第 199 条第 1 項及び第 4 項の規定により実施した定期監査の結果も考慮に入れながら、必要に応じ関係者からの説明を聴取して審査を実施した。

### 第 6 審査の実施場所及び日程

審査の実施場所：美作浄水場（美作市檜原下 160 番地 1）  
美作市立大原病院（美作市古町 1771 番地 9）  
美作浄化センター（美作市湯郷 932 番地）

日程：令和 5 年 7 月 25、26 日

### 第 7 審査の結果及び意見

審査に付された歳入歳出決算書及びその他関係諸帳簿等はいずれも関係法令に準拠して作成され、計数は符合し正確であり、予算の執行は審査した限りにおいては適正であると認められた。

なお、各事業の決算概要及びこれに対する審査意見は次のとおりである。

# 1 美作市水道事業会計

## (1) 事業概要

年度 区分	単位	R 4	R 3	増 減	増減率 (%)
給 水 人 口	人	25,685	26,158	△ 473	△ 1.8
加 入 戸 数	戸	15,011	15,065	△ 54	△ 0.4
給 水 戸 数	戸	13,319	13,342	△ 23	△ 0.2
給水中止戸数	戸	1,692	1,723	△ 31	△ 1.8
総 配 水 量	m <sup>3</sup>	4,034,461	4,177,161	△ 142,700	△ 3.4
総 有 収 水 量	m <sup>3</sup>	2,993,020	3,000,535	△ 7,515	△ 0.3
有 収 率	%	74.19	71.83	2.36	

(2) 予算の執行状況（消費税込み）

① 収益的収入及び支出

《収入》

（単位：円・％）

区 分	予算額	決算額	収入率	構成比率	予算額に比べ 決算額の増減
上水道事業収益	585,626,000	577,747,937	98.7	70.5	△ 7,878,063
営業収益	535,682,000	534,161,477	99.7	65.2	△ 1,520,523
営業外収益	49,944,000	43,586,460	87.3	5.3	△ 6,357,540
簡易水道事業収益	243,093,000	241,682,785	99.4	29.5	△ 1,410,215
営業収益	140,720,000	142,376,107	101.2	17.4	1,656,107
営業外収益	102,373,000	99,306,678	97.0	12.1	△ 3,066,322
合 計	828,719,000	819,430,722	98.9	100.0	△ 9,288,278

《支出》

（単位：円・％）

区 分	予算額	決算額	執行率	構成比率	不用額
上水道事業費用	591,655,000	510,721,843	86.3	56.7	80,933,157
営業費用	562,869,000	495,448,122	88.0	55.0	67,420,878
営業外費用	21,486,000	13,158,828	61.2	1.5	8,327,172
特別損失	4,300,000	2,114,893	49.2	0.2	2,185,107
予備費	3,000,000	0	—	0.0	3,000,000
簡易水道事業費用	421,766,000	389,860,289	92.4	43.3	31,905,711
営業費用	380,666,000	353,558,386	92.9	39.3	27,107,614
営業外費用	39,200,000	35,837,992	91.4	4.0	3,362,008
特別損失	1,100,000	463,911	42.2	0.1	636,089
予備費	800,000	0	—	0.0	800,000
合 計	1,013,421,000	900,582,132	88.9	100.0	112,838,868

収益的収入の決算額は8億1,943万円で、収入率は98.9%、収益的支出の決算額は9億58万円で執行率は88.9%である。

また、収入の構成比率は、上水道事業収益が70.5%、簡易水道事業収益が29.5%であったが、支出の構成比率は、上水道事業費用が56.7%、簡易水道事業費用が43.3%である。

② 資本的収入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
上水道事業資本的収入	18,800,000	18,528,000	98.6	△ 272,000
出 資 金	4,500,000	4,500,000	100.0	0
補 助 金	11,000,000	9,936,000	90.3	△ 1,064,000
負 担 金	3,300,000	4,092,000	124.0	792,000
投 資	0	0	—	0
簡易水道事業資本的収入	386,373,000	376,896,500	97.5	△ 9,476,500
出 資 金	278,273,000	276,414,000	99.3	△ 1,859,000
企 業 債	107,000,000	99,300,000	92.8	△ 7,700,000
負 担 金	1,100,000	1,182,500	107.5	82,500
合 計	405,173,000	395,424,500	97.6	△ 9,748,500

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	翌年度 繰越額	執行率	不用額
上水道事業資本的支出	320,981,000	275,597,896	0	85.9	45,383,104
建 設 改 良 費	252,757,000	207,374,490	0	82.0	45,382,510
企 業 債 償 還 金	68,224,000	68,223,406	0	100.0	594
投 資	0	0	0	—	0
簡易水道事業資本的支出	386,573,000	376,896,217	0	97.5	9,676,783
建 設 改 良 費	115,280,000	105,603,300	0	91.6	9,676,700
企 業 債 償 還 金	271,293,000	271,292,917	0	100.0	83
合 計	707,554,000	652,494,113	0	92.2	55,059,887

資本的収入決算額 3 億 9,542 万円の事業ごとの内訳は、上水道事業資本的収入 1,852 万円、簡易水道事業資本的収入 3 億 7,689 万円で、予算額 4 億 517 万円に対する収入率は 97.6%となっている。

資本的支出決算額 6 億 5,249 万円の事業ごとの内訳は、上水道事業資本的支出 2 億 7,559 万円、簡易水道事業資本的支出 3 億 7,689 万円で、予算額 7 億 755 万円に対する執行率は 92.2%となっている。

## (3) 経営成績

## ① 損益計算書

## 損益計算書

(単位：円・%)

年度 科目	R 4		R 3		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
営業収益	615,394,710	80.7	625,599,097	84.2	△ 10,204,387	△ 1.6
給水収益	586,130,640	76.8	587,937,160	79.2	△ 1,806,520	△ 0.3
他会計負担金	1,789,000	0.2	1,591,000	0.2	198,000	12.4
受託工事収益	2,902,524	0.4	8,795,982	1.2	△ 5,893,458	△ 67.0
その他の営業収益	24,572,546	3.2	27,274,955	3.7	△ 2,702,409	△ 9.9
営業費用	823,822,255	94.5	846,564,669	93.9	△ 22,742,414	△ 2.7
原水及び浄水費	122,371,523	14.0	93,042,752	10.3	29,328,771	31.5
配水及び給水費	88,934,760	10.2	106,983,218	11.9	△ 18,048,458	△ 16.9
受託工事費	2,781,000	0.3	9,221,000	1.0	△ 6,440,000	△ 69.8
総係費	178,391,653	20.5	180,561,953	20.0	△ 2,170,300	△ 1.2
減価償却費	413,598,863	47.4	436,308,523	48.4	△ 22,709,660	△ 5.2
資産減耗費	17,095,894	2.0	19,746,558	2.2	△ 2,650,664	△ 13.4
その他営業費用	648,562	0.1	700,665	0.1	△ 52,103	△ 7.4
営業損失	208,427,545	—	220,965,572	—	△ 12,538,027	△ 5.7
営業外収益	147,521,650	19.3	117,104,694	15.8	30,416,956	26.0
受取利息及び配当金	7,545,402	1.0	4,056,450	0.5	3,488,952	86.0
他会計負担金	19,600,000	2.6	16,070,000	2.2	3,530,000	22.0
他会計補助金	25,967,000	3.4	1,900,000	0.3	24,067,000	1,266.7
長期前受金戻入	89,780,736	11.8	93,021,034	12.5	△ 3,240,298	△ 3.5
雑収益	4,628,512	0.6	2,057,210	0.3	2,571,302	125.0
営業外費用	45,733,390	5.2	50,769,091	5.6	△ 5,035,701	△ 9.9
支払利息及び企業債取扱諸費	41,972,420	4.8	48,242,576	5.4	△ 6,270,156	△ 13.0
雑支出	3,760,970	0.4	2,526,515	0.3	1,234,455	48.9
経常損失	106,639,285	—	154,629,969	—	△ 47,990,684	△ 31.0
特別損失	2,344,373	0.3	3,841,067	0.4	△ 1,496,694	△ 39.0
過年度損益修正損	4,200	0.0	0	0.0	4,200	皆増
その他特別損失	2,340,173	0.3	3,841,067	0.4	△ 1,500,894	△ 39.1
当年度純損失	108,983,658	—	158,471,036	—	△ 49,487,378	△ 31.2
前年度繰越欠損金	301,743,347	—	143,272,311	—	158,471,036	110.6
当年度未処理欠損金	410,727,005	—	301,743,347	—	108,983,658	36.1

(注) 構成比は総収益、費用に対する比率である。

ア 営業損益

営業収益 6 億 1,539 万円から営業費用 8 億 2,382 万円を控除した営業損益は 2 億 842 万円の損失となっている。

イ 経常損益

営業損益に営業外収益 1 億 4,752 万円と営業外費用 4,573 万円を加減した経常損益は 1 億 663 万円の損失となっている。

ウ 純損益

経常損失に特別損失 234 万円を加算した当年度純損失は 1 億 898 万円となっている。

エ まとめ

令和 2 年度から、簡易水道特別会計を水道事業会計に統合したため、前年度の繰越損失を加えて約 4 億円の損失計上となっている。

② 未収金の状況について

水道料金未収金一覧 (単位:円・%)

区分	年度	R 4	R 3	対前年度比	
				増 減	増減率
現年度分	美作地区	8,579,144	11,660,163	△ 3,081,019	△ 26.4
	作東地区	1,853,925	2,150,904	△ 296,979	△ 13.8
	英田地区	916,652	1,075,118	△ 158,466	△ 14.7
	勝田地区	615,825	1,143,838	△ 528,013	△ 46.2
	大原地区	859,290	1,068,320	△ 209,030	△ 19.6
	東粟倉地区	287,917	313,183	△ 25,266	△ 8.1
	計	13,112,753	17,411,526	△ 4,298,773	△ 24.7
過年度分	美作地区	3,257,493	3,533,620	△ 276,127	△ 7.8
	作東地区	3,851,995	5,331,252	△ 1,479,257	△ 27.7
	英田地区	420,445	361,675	58,770	16.2
	勝田地区	603,393	655,220	△ 51,827	△ 7.9
	大原地区	661,430	651,127	10,303	1.6
	東粟倉地区	220,306	212,122	8,184	3.9
	計	9,015,062	10,745,016	△ 1,729,954	△ 16.1
合 計	22,127,815	28,156,542	△ 6,028,727	△ 21.4	

令和 4 年度末現在の水道料金の未収金は 2,212 万円であり、前年度から 6 百万円の減額となっている。

## (4) 財政状況

≪資産の部≫

(単位：円・%)

年度 科目	R 4		R 3		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
固定資産	8,765,941,892	89.0	8,712,106,981	88.0	53,834,911	0.6
有形固定資産	8,128,368,892	82.5	8,279,314,381	83.6	△150,945,489	△ 1.8
土地	355,002,881	3.6	354,999,533	3.6	3,348	0.0
建物	337,306,201	3.4	351,802,696	3.6	△14,496,495	△ 4.1
構築物	6,378,761,482	64.8	6,458,748,303	65.2	△ 79,986,821	△ 1.2
機械及び装置	1,044,243,605	10.6	1,097,974,212	11.1	△53,730,607	△ 4.9
車両運搬具	5,000,643	0.1	5,019,118	0.1	△ 18,475	△ 0.4
工具器具及び備品	8,054,080	0.1	10,770,519	0.1	△ 2,716,439	△25.2
無形固定資産	37,573,000	0.4	32,792,600	0.3	4,780,400	14.6
水利権	0	0.0	850,000	0.0	△ 850,000	皆減
施設利用権	860,000	0.0	1,290,000	0.0	△ 430,000	△33.3
ソフト使用権	36,713,000	0.4	30,652,600	0.3	6,060,400	19.8
投資その他の資産	600,000,000	6.1	400,000,000	4.0	200,000,000	50.0
投資有価証券	600,000,000	6.1	400,000,000	4.0	200,000,000	50.0
流動資産	1,083,117,219	11.0	1,189,342,431	12.0	△106,225,212	△ 8.9
現金預金	989,761,769	10.0	1,128,620,092	11.4	△138,858,323	△12.3
未収金	62,122,642	0.6	30,317,131	0.3	31,805,511	104.9
貯蔵品	31,232,808	0.3	30,405,208	0.3	827,600	2.7
資産合計	9,849,059,111	100.0	9,901,449,412	100.0	△52,390,301	△ 0.5

《負債及び資本の部》

(単位：円・%)

科 目	R 4		R 3		対前年度比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増 減	増減率
固 定 負 債	2,364,244,658	24.0	2,586,335,065	26.1	△222,090,407	△ 8.6
企業債(建設改良等企業債)	2,355,201,826	23.9	2,577,292,233	26.0	△222,090,407	△ 8.6
引当金(修繕引当金)	9,042,832	0.1	9,042,832	0.1	0	0.0
流 動 負 債	533,986,730	5.4	460,267,306	4.6	73,719,424	16.0
企 業 債	321,390,407	3.3	339,516,323	3.4	△18,125,916	△ 5.3
未 払 金	166,690,178	1.7	74,085,984	0.7	92,604,194	125.0
預 り 金	35,685,145	0.4	35,379,999	0.4	305,146	0.9
引 当 金	10,221,000	0.1	11,285,000	0.1	△ 1,064,000	△ 9.4
繰 延 収 益	1,551,906,298	15.8	1,632,654,306	16.5	△ 80,748,008	△ 4.9
長 期 前 受 金	1,551,906,298	15.8	1,632,654,306	16.5	△ 80,748,008	△ 4.9
資 本 金	5,280,945,032	53.6	5,000,031,032	50.5	280,914,000	5.6
自 己 資 本 金	4,455,191,731	45.2	4,455,191,731	45.0	0	0.0
一 般 会 計 出 資 金	825,753,301	8.4	544,839,301	5.5	280,914,000	51.6
剰 余 金	117,976,393	1.2	222,161,703	2.2	△104,185,310	△ 46.9
資 本 剰 余 金	161,703,398	1.6	156,905,050	1.6	4,798,348	3.1
受贈財産評価額	3,348	0.0	0	0.0	3,348	皆増
保 険 金	21,820,050	0.2	21,820,050	0.2	0	0.0
そ の 他 剰 余 金	139,880,000	1.4	135,085,000	1.4	4,795,000	3.5
利 益 剰 余 金	△ 43,727,005	△0.4	65,256,653	0.7	△108,983,658	△167.0
減 債 積 立 金	169,000,000	1.7	169,000,000	1.7	0	0.0
建 設 改 良 積 立 金	198,000,000	2.0	198,000,000	2.0	0	0.0
当 年 度 未 処 理 欠 損 金	410,727,005	△4.2	301,743,347	△3.0	108,983,658	36.1
負 債 ・ 資 本 合 計	9,849,059,111	100.0	9,901,449,412	100.0	△ 52,390,301	△ 0.5

資産・負債の総額は98億4,905万円で、資産の内訳は、固定資産が87億6,594万円、流動資産が10億8,311万円である。

また、負債及び資本の内訳は、固定負債が23億6,424万円、流動負債が5億3,398万円、繰延収益が15億5,190万円、資本金が52億8,094万円、剰余金が1億1,797万円である。

## (5) む す び

### ① 業務実績について

水道事業は、社会経済活動を支える重要な基盤施設であり、快適な市民生活の実現や社会経済の維持及び発展に不可欠なものとなっており、地域住民のライフラインとして、常時「安全で安心な水道水」を安定供給していくことが使命である。

ところで、本年度末における給水人口は25,685人、給水戸数は13,319戸で、前年度と比較すると給水人口は473人、給水戸数は23戸それぞれ減少している。また、年間総有水量は、2,993,020 m<sup>3</sup>、有収率は74.2%で、前年度と比較すると、総配水量は142,700 m<sup>3</sup>減少しているが、逆に有収率は2.4ポイント上昇している。

この様な状況下ではあるが、本年度においても、計画的に施設の計装機器、ポンプ設備及び水道管等の基幹設備等の年度更新を実施し、安全・安心・安定な給水の確保に努めていることは評価できる。

### ② 意見及び指摘事項

水道事業は、地域住民のライフラインとして低廉で清浄な水道水を常時安定給水していくことが使命であるが、給水人口は年々減少し減収になっていることから、より効果的な事業運営が必要とされる。

本年度における経常収支比率は87.7%で、純損失1億898万円が計上されているが、すでに、昭和40年代以降に建設した施設、管路が経年劣化等により更新時期を迎えており、設備の改修費用が増加している。施設の統廃合を含めた設備の更新等を計画し、最小の経費で最大の効果を得るための方策を検討しながら、一層の経費削減を図るとともに、公平性の観点から、新たな未収金の発生抑止に努めるなど、引き続き収入未済額の縮減に努められたい。

また、簡易水道と上水道との料金格差については、市民生活の平等性を担保するためにも、段階的に料金の見直しを行い、早期是正に取り組まれたい。

## 2 美作市病院事業会計

### (1) 事業概要

(単位：人・%)

年度 区分	R 4	R 3	増 減	増減率
入 院	24,398	25,124	△ 726	△ 2.9
外 来	26,642	24,792	1,850	7.5

### (2) 予算の執行状況（消費税込み）

#### ① 収益的収入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
病院事業収益	1,153,774,000	1,329,413,784	115.2	175,639,784
医業収益	884,211,000	954,926,801	108.0	70,715,801
医業外収益	269,562,000	374,486,983	138.9	104,924,983
特別利益	1,000	0	—	△ 1,000

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不 用 額
病院事業費用	1,165,559,000	1,049,767,356	90.1	115,791,644
医業費用	1,124,626,000	1,018,461,826	90.6	106,164,174
医業外費用	37,932,000	31,305,530	82.5	6,626,470
特別損失	1,000	0	—	1,000
予備費	3,000,000	0	—	3,000,000

収益的収入の決算額は13億2,941万円であり、その内訳は医業収益9億5,492万円、医業外収益3億7,448万円で、予算額11億5,377万円に対し115.2%の収入率となっている。これは医業外収益である新型コロナウイルス感染症対策補助金等収入があったためである。

また、収益的支出の決算額は10億4,976万円であり、その内訳は医業費用10億1,846万円、医業外費用3,130万円で、予算額11億6,555万円に対し90.1%の執行率となっている。

② 資本的収入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
資 本 的 収 入	256,603,000	256,303,000	99.9	△ 300,000
一般会計出資金	19,203,000	19,203,000	100.0	0
企 業 債	37,400,000	37,100,000	99.2	△ 300,000
投 資 償 還 金	200,000,000	200,000,000	100.0	0

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不用額
資 本 的 支 出	291,810,000	283,041,754	97.0	8,768,246
建 設 改 良 費	53,403,000	44,635,200	83.6	8,767,800
企 業 債 償 還 金	38,407,000	38,406,554	100.0	446
投 資	200,000,000	200,000,000	100.0	0

資本的収入の決算額は2億5,630万円で、予算に対する収入率は99.9%となっている。

また、資本的支出の決算額は2億8,304万円で、その内訳は建設改良費が4,463万円、企業債償還金が3,840万円、投資が2億円で、予算に対する執行率は建設改良費83.6%、企業債償還金及び投資が100.0%となっている。

## (3) 経営成績

## ① 損益計算書

## 損益計算書

(単位:円・%)

年度 科目	R 4		R 3		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
医業収益	945,883,948	71.6	877,003,772	70.3	68,880,176	7.9
入院収益	571,085,742	43.3	543,662,836	43.6	27,422,906	5.0
外来収益	233,474,495	17.7	177,535,964	14.2	55,938,531	31.5
その他医業収益	141,323,711	10.7	155,804,972	12.5	△14,481,261	△ 9.3
医業費用	997,772,890	95.1	936,945,179	95.3	60,827,711	6.5
給与費	661,953,688	63.1	643,448,605	65.4	18,505,083	2.9
材料費	128,465,974	12.2	94,958,466	9.7	33,507,508	35.3
経費	131,730,336	12.6	121,701,034	12.4	10,029,302	8.2
減価償却費	75,038,210	7.2	75,621,908	7.7	△ 583,698	△ 0.8
資産減耗費	276,476	0.0	1,182,941	0.1	△ 906,465	△ 76.6
研究研修費	308,206	0.0	32,225	0.0	275,981	856.4
医業損失	51,888,942	—	59,941,407	—	△ 8,052,465	△ 13.4
医業外収益	374,328,539	28.4	371,356,373	29.7	2,972,166	0.8
受取利息及び配当金	3,462,307	0.3	956,833	0.1	2,505,474	261.9
他会計補助金	251,886,000	19.1	205,169,000	16.4	46,717,000	22.8
国・県補助金	105,400,400	8.0	149,940,602	12.0	△44,540,202	△ 29.7
患者外給食収益	189,962	0.0	106,191	0.0	83,771	78.9
長期前受金戻入	10,436,928	0.8	12,434,414	1.0	△ 1,997,486	△ 16.1
その他医業外収益	2,952,942	0.2	2,749,333	0.2	203,609	7.4
医業外費用	51,452,780	4.9	46,246,762	4.7	5,206,018	11.3
支払利息及び企業債取扱諸費	9,649,506	0.9	10,352,595	1.1	△ 703,089	△ 6.8
患者外給食材料費	182,245	0.0	354,325	0.0	△ 172,080	△ 48.6
院内保育所運営費	9,041,705	0.9	10,175,278	1.0	△ 1,133,573	△ 11.1
雑支出	27,244,324	2.6	20,029,564	2.0	7,214,760	36.0
長期前払消費税勘定償却	5,335,000	0.5	5,335,000	0.5	0	0.0
経常利益	270,986,817	—	265,168,204	—	5,818,613	2.2
特別利益	0	—	0	—	0	
特別損失	0	—	0	—	0	
当年度純利益	270,986,817	—	265,168,204	—	5,818,613	2.2
前年度繰越利益剰余金	1,568,215,016	—	1,323,046,812	—	245,168,204	18.5
当年度未処分利益剰余金	1,839,201,833	—	1,588,215,016	—	250,986,817	15.8

(注) 構成比は総収益(13億2,021万円)、総費用(10億4,922万円)に対する比率である。

令和3年度の当年度未処分利益剰余金 15 億 8,821 万円と令和4年度の前年度繰越利益剰余金 15 億 6,821 万円の差 2,000 万円は令和4年度の減債積立金で処理している。

ア 医業損益

医業収益 9 億 4,588 万円から医業費用 9 億 9,777 万円を控除した医業損失は 5,188 万円となっている。

イ 経常損益

医業損失に医業外収益 3 億 7,432 万円と医業外費用 5,145 万円を加減した経常利益は 2 億 7,098 万円となっている。

ウ 純利益

特別利益、特別損失がないため当年度純利益は 2 億 7,098 万円となっている。

また、前年度繰越利益剰余金 15 億 6,821 万円に当年度純利益を加算した 18 億 3,920 万円が当年度未処分利益剰余金となっている。

エ まとめ

病院経営は医業収支では約 5 千万円の赤字であったが、他会計補助金や国・県補助金などの医業外収益により 2 億 7,098 万円の黒字経営となっている。

② 未収金について

(単位：円・%)

区 分		年 度		対前年度比	
		R 4 金 額	R 3 金 額	増 減	増減率
現 年 度 分	入 院	4,742,725	4,921,585	△ 178,860	△ 3.6
	外 来	1,016,180	250,140	766,040	306.2
	事 故	208,974	0	208,974	皆増
	介 護	196,916	131,713	65,203	49.5
	計	6,164,795	5,303,438	861,357	16.2
過 年 度 分	入 院	3,145,688	3,305,514	△ 159,826	△ 4.8
	外 来	443,675	409,345	34,330	8.4
	事 故	0	0	0	—
	介 護	0	0	0	—
	計	3,589,363	3,714,859	△ 125,496	△ 3.4
合 計		9,754,158	9,018,297	735,861	8.2

令和4年度末現在の未収金は、975 万円であり、前年度と比べ 73 万円 (8.2%) 増加している。

## (4) 財政状況

《資産の部》

(単位：円・%)

年度 科目	R 4		R 3		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
固定資産	1,711,084,236	37.4	1,751,092,446	40.8	△ 40,008,210	△ 2.3
有形固定資産	1,501,511,565	32.8	1,536,184,775	35.8	△ 34,673,210	△ 2.3
土地	5,861,552	0.1	5,861,552	0.1	0	0.0
建物	1,404,550,578	30.7	1,464,871,188	34.1	△ 60,320,610	△ 4.1
構築物	4,219,512	0.1	4,253,278	0.1	△ 33,766	△ 0.8
機械備品	86,345,266	1.9	59,901,735	1.4	26,443,531	44.1
車両運搬具	534,657	0.0	1,297,022	0.0	△ 762,365	△58.8
建設仮勘定	0	0.0	0	0.0	0	—
投資その他の資産	209,572,671	4.6	214,907,671	5.0	△ 5,335,000	△ 2.5
投資有価証券	200,000,000	4.4	200,000,000	4.7	0	0.0
長期前払消費税	9,572,671	0.2	14,907,671	0.3	△ 5,335,000	△35.8
流動資産	2,859,766,573	62.6	2,545,793,331	59.2	313,973,242	12.3
現金預金	2,690,376,959	58.9	2,380,920,737	55.4	309,456,222	13.0
未収金	165,971,675	3.6	160,962,251	3.7	5,009,424	3.1
貯蔵品	3,417,939	0.1	3,910,343	0.1	△ 492,404	△12.6
前払金	0	0.0	0	0.0	0	—
資産合計	4,570,850,809	100.0	4,296,885,777	100.0	273,965,032	6.4

《負債及び資本の部》

(単位：円・%)

年度 科目	R 4		R 3		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
固定負債	749,691,453	16.4	750,498,007	17.5	△ 806,554	△ 0.1
企業債	573,006,073	12.5	574,312,627	13.4	△ 1,306,554	△ 0.2
引当金	176,685,380	3.9	176,185,380	4.1	500,000	0.3
退職給付引当金	134,695,630	2.9	134,695,630	3.1	0	0.0
特別修繕引当金	41,989,750	0.9	41,489,750	1.0	500,000	1.2
流動負債	73,370,222	1.6	78,351,525	1.8	△ 4,981,303	△ 6.4
企業債	0	0.0	0	0.0	0	—
未払金	37,482,304	0.8	43,596,907	1.0	△ 6,114,603	△14.0
引当金(賞与引当金)	35,828,000	0.8	34,689,000	0.8	1,139,000	3.3
預り金	59,918	0.0	65,618	0.0	△ 5,700	△ 8.7
繰延収益(長期前受金)	181,202,537	4.0	191,639,465	4.5	△ 10,436,928	△ 5.4
資本金	1,474,151,295	32.3	1,454,948,295	33.9	19,203,000	1.3
自己資本金	1,474,151,295	32.3	1,454,948,295	33.9	19,203,000	1.3
剰余金	2,092,435,302	45.8	1,821,448,485	42.4	270,986,817	14.9
資本剰余金	49,253,665	1.1	49,253,665	1.1	0	0.0
国・県補助金	6,084,760	0.1	6,084,760	0.1	0	0.0
負担金	43,168,905	0.9	43,168,905	1.0	0	0.0
利益剰余金	2,043,181,637	44.7	1,772,194,820	41.2	270,986,817	15.3
減債積立金	195,000,000	4.3	175,000,000	4.1	20,000,000	11.4
利益積立金	8,979,804	0.2	8,979,804	0.2	0	0.0
当年度未処分利益剰余金	1,839,201,833	40.2	1,588,215,016	37.0	250,986,817	15.8
負債・資本合計	4,570,850,809	100.0	4,296,885,777	100.0	273,965,032	6.4

資産・負債の総額は45億7,085万円で、資産の内訳は、固定資産が17億1,108万円、流動資産が28億5,976万円である。

また、負債及び資本の内訳は、固定負債が7億4,969万円、流動負債が7,337万円、繰延収益が1億8,120万円、資本金が14億7,415万円、剰余金が20億9,243万円である。

## (5) む す び

### ① 業務実績について

本年度における患者数は、入院が24,398人、外来が26,642人であった。前年度と比較すると入院が726人の減、外来が1,850人の増となっている。収益的には、前年度から入院収益が2,742万円、外来収益が5,593万円の増となっている。

また、時間外における診療件数は2,049件、救急搬送件数は351件であった。前年度と比較すると時間外診療件数は965件、救急搬送件数は148件増加している。

なお、収益的収支は、収益決算額が13億2,021万円であり、前年度から7,185万円の増、費用決算額は10億4,922万円と前年度から6,603万円の増となった。主な内容について前年度の金額と比較すると、収益面ではその他医業収益が1,448万円、県補助金が4,454万円の減、他会計補助金が4,671万円の増などとなっており、当年度の純利益は前年度より581万円増の2億7,098万円となっている。

一方、資本的収支については、機械備品購入費においてデジタルX線TVシステム等を4,463万円で更新を行っている。また本年度も、企業債3,840万円の償還を執行している。

人口減少、国民総医療費の削減など病院経営をめぐる環境の厳しさに加え、医師不足や看護師不足など、医療現場においても厳しい状況が続いている中で、これらの解消にむけて平成22年度より地域医療臨床研修協力病院として、看護実習生を大阪滋慶学園より受け入れていることなどにより徐々に改善されてきている。

### ② 意見及び指摘事項

大原病院は、美作市唯一の公立病院として、予防及び福祉医療を含めた包括医療を実践している。特に、前年度から引き続き新型コロナウイルス感染症に対して、迅速かつ適切な対策を講じ、市民の安全安心に寄与したことは高く評価できる。

なお、未収金については、発生理由が様々であるが、一旦発生した未収金を回収するには時間と経費がかかるため、病院経営の経済性と合理性の観点から、防止策を事前に講じられたい。

### 3 美作市下水道事業会計

#### (1) 事業概要

項目 \ 年度	単位	R 4	R 3	増 減	増減率 (%)
処 理 人 口	人	25,577	25,985	△ 408	△ 1.6
水 洗 化 人 口	人	23,019	23,395	△ 376	△ 1.6
水 洗 化 率	%	90.0	90.0	0.0	0.0
計 画 面 積	ha	1,673	1,673	0	0.0
整 備 面 積	ha	1,545	1,545	0	0.0
処 理 面 積	ha	1,545	1,545	0	0.0
汚 水 管 渠 延 長	km	609	609	0	0.0
雨 水 管 渠 延 長	km	2	2	0	0.0
総 処 理 水 量	m <sup>3</sup>	2,835,306	2,890,677	△ 55,371	△ 1.9
一 日 平 均 処 理 水 量	m <sup>3</sup>	7,768	7,920	△ 152	△ 1.9
総 有 収 水 量	m <sup>3</sup>	2,685,721	2,691,380	△ 5,659	△ 0.2
一 日 平 均 有 収 水 量	m <sup>3</sup>	7,358	7,374	△ 16	△ 0.2

## (2) 予算の執行状況(消費税込み)

## ① 収益的収入及び支出

<<収入>>
 (単位:円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	構成比	予算額に比べ 決算額の増減
公 共 下 水 道 事 業 収 益	665,832,000	664,098,310	99.7	28.5	△1,733,690
営 業 収 益	180,530,000	178,941,124	99.1	7.7	△1,588,876
営 業 外 収 益	485,301,000	485,154,920	100.0	20.8	△ 146,080
特 別 利 益	1,000	2,266	226.6	0.0	1,266
特 定 環 境 保 全 公 共 下 水 道 事 業 収 益	1,279,258,000	1,282,378,433	100.2	55.1	3,120,433
営 業 収 益	232,159,000	229,795,440	99.0	9.9	△2,363,560
営 業 外 収 益	1,047,098,000	1,052,269,367	100.5	45.2	5,171,367
特 別 利 益	1,000	313,626	31362.6	0.0	312,626
農 業 集 落 排 水 事 業 収 益	321,719,000	323,697,100	100.6	13.9	1,978,100
営 業 収 益	37,802,000	37,295,489	98.7	1.6	△ 506,511
営 業 外 収 益	283,916,000	286,308,108	100.8	12.3	2,392,108
特 別 利 益	1,000	93,503	9350.3	0.0	92,503
小 規 模 集 合 排 水 処 理 事 業 収 益	8,898,000	9,015,445	101.3	0.4	117,445
営 業 収 益	516,000	514,201	99.7	0.0	△ 1,799
営 業 外 収 益	8,381,000	8,501,244	101.4	0.4	120,244
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
個 別 排 水 処 理 事 業 収 益	27,287,000	28,406,399	104.1	1.2	1,119,399
営 業 収 益	8,018,000	8,319,605	103.8	0.4	301,605
営 業 外 収 益	19,268,000	20,086,794	104.2	0.9	818,794
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
生 活 排 水 処 理 事 業 収 益	19,176,000	19,439,587	101.4	0.8	263,587
営 業 収 益	5,407,000	5,336,556	98.7	0.2	△ 70,444
営 業 外 収 益	13,768,000	14,103,031	102.4	0.6	335,031
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
合 計	2,322,170,000	2,327,035,274	100.2	100.0	4,865,274

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	構成比	不 用 額
公 共 下 水 道 事 業 費 用	688,143,000	671,747,629	97.6	28.4	16,395,371
営 業 費 用	620,159,000	605,148,901	97.6	25.6	15,010,099
営 業 外 費 用	65,934,000	65,838,080	99.9	2.8	95,920
特 別 損 失	1,050,000	760,648	72.4	0.0	289,352
予 備 費	1,000,000	0	—	0.0	1,000,000
特 定 環 境 保 全 公 共 下 水 道 事 業 費 用	1,333,141,000	1,311,543,619	98.4	55.4	21,597,381
営 業 費 用	1,178,012,000	1,157,837,217	98.3	48.9	20,174,783
営 業 外 費 用	152,619,000	152,332,942	99.8	6.4	286,058
特 別 損 失	1,510,000	1,373,460	91.0	0.1	136,540
予 備 費	1,000,000	0	—	0.0	1,000,000
農 業 集 落 排 水 事 業 費 用	333,938,000	322,573,333	96.6	13.6	11,364,667
営 業 費 用	303,864,000	293,875,431	96.7	12.4	9,988,569
営 業 外 費 用	28,654,000	28,633,467	99.9	1.2	20,533
特 別 損 失	420,000	64,435	15.3	0.0	355,565
予 備 費	1,000,000	0	—	0.0	1,000,000
小 規 模 集 合 排 水 処 理 事 業 費 用	9,235,000	8,339,129	90.3	0.4	895,871
営 業 費 用	7,479,000	6,749,159	90.2	0.3	729,841
営 業 外 費 用	1,586,000	1,580,081	99.6	0.1	5,919
特 別 損 失	70,000	9,889	14.1	0.0	60,111
予 備 費	100,000	0	—	0.0	100,000
個 別 排 水 処 理 事 業 費 用	33,592,000	33,110,201	98.6	1.4	481,799
営 業 費 用	31,192,000	30,912,049	99.1	1.3	279,951
営 業 外 費 用	2,230,000	2,197,993	98.6	0.1	32,007
特 別 損 失	70,000	159	0.2	0.0	69,841
予 備 費	100,000	0	—	0.0	100,000
生 活 排 水 処 理 事 業 費 用	19,479,000	19,236,409	98.8	0.8	242,591
営 業 費 用	17,879,000	17,821,749	99.7	0.8	57,251
営 業 外 費 用	1,420,000	1,414,660	99.6	0.1	5,340
特 別 損 失	80,000	0	0.0	0.0	80,000
予 備 費	100,000	0	—	0.0	100,000
合 計	2,417,528,000	2,366,550,320	97.9	100.0	50,977,680

収益的収入の決算額は23億2,703万円で収入率は100.2%、収益的支出の決算額は23億6,655万円で執行率が97.9%である。

収入の構成比率は、公共下水道事業収益が28.5%、特定環境保全公共下水道事業収益が55.1%、農業集落排水事業収益が13.9%、小規模集合排水処理事業収益が0.4%、個別排水処理事業収益が1.2%、生活排水処理事業収益が0.8%である。

一方、支出の構成比率は、公共下水道事業費用が28.4%、特定環境保全公共下水道事業費用が55.4%、農業集落排水事業費用が13.6%、小規模集合排水処理事業費用が0.4%、個別排水処理事業費用が1.4%、生活排水処理事業費用が0.8%である。

② 資本的收入及び支出

≪収入≫

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
公共下水道事業資本的収入	309,861,000	306,229,891	98.8	△ 3,631,109
出 資 金	217,802,000	216,487,500	99.4	△ 1,314,500
企 業 債	31,600,000	30,200,000	95.6	△ 1,400,000
補 助 金	30,800,000	29,485,500	95.7	△ 1,314,500
負 担 金	7,300,000	7,698,420	105.5	398,420
基 金 収 入	359,000	358,471	99.9	△ 529
基 金 取 崩 収 入	22,000,000	22,000,000	100.0	0
特定環境保全公共下水道事業資本的収入	601,905,000	578,056,633	96.0	△ 23,848,367
出 資 金	486,813,000	481,813,000	99.0	△ 5,000,000
企 業 債	81,900,000	71,800,000	87.7	△ 10,100,000
補 助 金	28,300,000	18,300,000	64.7	△ 10,000,000
負 担 金	4,000,000	5,250,560	131.3	1,250,560
基 金 収 入	892,000	893,073	100.1	1,073
農業集落排水事業資本的収入	138,866,000	137,666,799	99.1	△ 1,199,201
出 資 金	131,938,000	131,938,000	100.0	0
企 業 債	4,900,000	3,700,000	75.5	△ 1,200,000
負 担 金	1,300,000	1,300,000	100.0	0
基 金 収 入	728,000	728,799	100.1	799
小規模集合排水処理事業資本的収入	3,878,000	3,978,000	102.6	100,000
出 資 金	3,578,000	3,578,000	100.0	0
負 担 金	300,000	400,000	133.3	100,000
個別排水処理事業資本的収入	23,744,000	15,144,741	63.8	△ 8,599,259
出 資 金	6,720,000	6,720,000	100.0	0
企 業 債	16,200,000	7,800,000	48.1	△ 8,400,000
負 担 金	800,000	600,000	75.0	△ 200,000
基 金 収 入	24,000	24,741	103.1	741
生活排水処理事業資本的収入	826,000	826,495	100.1	495
出 資 金	740,000	740,000	100.0	0
基 金 収 入	86,000	86,495	100.6	495
合 計	1,079,080,000	1,041,902,559	96.6	△ 37,177,441

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	翌年度 繰越額	執行率	不用額
公共下水道事業資本的支出	515,874,000	508,917,836	2,629,000	98.7	4,327,164
建設改良費	102,592,000	95,637,600	2,629,000	93.2	4,325,400
企業債償還金	412,922,000	412,921,765	0	100.0	235
積立金	360,000	358,471	0	99.6	1,529
特定環境保全公共下水道事業資本的支出	1,100,553,000	1,070,519,406	20,000,000	97.3	10,033,594
建設改良費	136,140,000	106,108,200	20,000,000	77.9	10,031,800
企業債償還金	963,519,000	963,518,133	0	100.0	867
積立金	894,000	893,073	0	99.9	927
農業集落排水事業資本的支出	250,747,000	247,997,210	0	98.9	2,749,790
建設改良費	11,250,000	8,502,090	0	75.6	2,747,910
企業債償還金	238,767,000	238,766,321	0	100.0	679
積立金	730,000	728,799	0	99.8	1,201
小規模集合排水処理事業資本的支出	7,325,000	7,300,379	0	99.7	24,621
建設改良費	400,000	376,200	0	94.1	23,800
企業債償還金	6,925,000	6,924,179	0	100.0	821
個別排水処理事業資本的支出	29,452,000	19,302,649	0	65.5	10,149,351
建設改良費	18,000,000	7,851,800	0	43.6	10,148,200
企業債償還金	11,427,000	11,426,108	0	100.0	892
積立金	25,000	24,741	0	99.0	259
生活排水処理事業資本的支出	3,618,000	3,617,217	0	100.0	783
企業債償還金	3,531,000	3,530,722	0	100.0	278
積立金	87,000	86,495	0	99.4	505
合 計	1,907,569,000	1,857,654,697	22,629,000	97.4	27,285,303

資本的収入決算額 10 億 4,190 万円の事業ごとの内訳は、公共下水道事業 3 億 622 万円、特定環境保全公共下水道事業 5 億 7,805 万円、農業集落排水事業 1 億 3,766 万円、小規模集合排水処理事業 397 万円、個別排水処理事業 1,514 万円、生活排水処理事業 82 万円であり、予算額 10 億 7,908 万円に対する収入率は 96.6%となっている。

資本的支出決算額 18 億 5,765 万円の事業ごとの内訳は、公共下水道事業 5 億 891 万円、特定環境保全公共下水道事業 10 億 7,051 万円、農業集落排水事業 2 億 4,799 万円、小規模集合排水処理事業 730 万円、個別排水処理事業 1,930 万円、生活排水処理事業 361 万円であり、予算額 19 億 756 万円に対する執行率は 97.4%となっているが、翌年度繰越額を含めると 98.6%である。

## (3) 経営成績

## ① 損益計算書

## 損益計算書

(単位：円・%)

年度 科目	R 4		R 3		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
営業収益	418,907,518	18.4	417,944,671	17.7	962,847	0.2
下水道使用料	413,118,775	18.2	413,345,530	17.5	△ 226,755	△ 0.1
他会計負担金	1,060,000	0.0	1,069,000	0.0	△ 9,000	△ 0.8
受託工事収益	4,654,100	0.2	3,432,990	0.1	1,221,110	35.6
その他の営業収益	74,643	0.0	97,151	0.0	△ 22,508	△ 23.2
営業費用	2,057,195,360	88.4	2,126,394,223	87.6	△ 69,198,863	△ 3.3
管渠費	100,769,718	4.3	92,045,783	3.8	8,723,935	9.5
ポンプ場費	980,040	0.0	1,084,870	0.0	△ 104,830	△ 9.7
処理場費	374,109,356	16.1	362,017,748	14.9	12,091,608	3.3
浄化槽費	29,311,610	1.3	27,190,267	1.1	2,121,343	7.8
受託工事費	4,231,000	0.2	3,120,900	0.1	1,110,100	35.6
総係費	127,224,345	5.5	114,365,425	4.7	12,858,920	11.2
減価償却費	1,408,700,163	60.5	1,524,480,557	62.8	△ 115,780,394	△ 7.6
資産減耗費	11,869,128	0.5	2,088,673	0.1	9,780,455	468.3
営業損失	1,638,287,842	—	1,708,449,552	—	△ 70,161,710	△ 4.1
営業外収益	1,852,966,668	81.5	1,949,914,573	82.3	△ 96,947,905	△ 5.0
受取利息及び配当金	343,051	0.0	7,970	0.0	335,081	4,204.3
他会計負担金	1,066,582,000	46.9	1,172,044,000	49.5	△ 105,462,000	△ 9.0
他会計補助金	267,354,660	11.8	217,646,000	9.2	49,708,660	22.8
長期前受金戻入	518,388,515	22.8	560,216,603	23.7	△ 41,828,088	△ 7.5
雑収益	298,442	0.0	0	0.0	298,442	皆増
営業外費用	268,131,958	11.5	297,807,317	12.3	△ 29,675,359	△ 10.0
支払利息及び企業債取扱諸費	251,997,223	10.8	285,151,538	11.7	△ 33,154,315	△ 11.6
雑支出	16,134,735	0.7	12,655,779	0.5	3,478,956	27.5
経常損失	53,453,132	—	56,342,296	—	△ 2,889,164	△ 5.1
特別利益	409,189	0.0	0	0.0	409,189	皆増
過年度損益修正益	409,189	0.0	0	0.0	409,189	皆増
特別損失	2,011,702	0.1	2,712,872	0.1	△ 701,170	△ 25.8
過年度損益修正損	829,807	0.0	1,576,797	0.1	△ 746,990	△ 47.4
その他特別損失	1,181,895	0.1	1,136,075	0.0	45,820	4.0
当年度純損失	55,055,645	—	59,055,168	—	△ 3,999,523	△ 6.8
前年度繰越欠損金	2,126,625,848	—	2,067,570,680	—	59,055,168	2.9
当年度未処理欠損金	2,181,681,493	—	2,126,625,848	—	55,055,645	2.6

(注) 構成比は総収益(22億7,228万円)、総費用(23億2,733万円)に対する比率である。

ア 営業損益

営業収益 4 億 1,890 万円から営業費用 20 億 5,719 万円を控除した営業損失は、16 億 3,828 万円となっている。

イ 経常損益

営業損失に営業外収益 18 億 5,296 万円及び営業外費用 2 億 6,813 万円を加減した経常損失は、5,345 万円となっている。

ウ 純損益

経常損失に特別利益 40 万円、特別損失 201 万円を加減した当年度純損失は、5,505 万円となっている。

③ 未収金の状況について

下水道負担金・分担金未収金状況

(単位：円・%)

区 分		年 度		対前年度比	
		R 4	R 3	増 減	増減率
現 年 度 分	公 共 下 水 道 負 担 金	0	1,078,150	△ 1,078,150	△ 100.0
	特定環境保全公共下水道負担金	0	600,000	△ 600,000	△ 100.0
	農業集落排水事業分担金	0	0	0	—
	小規模集合排水事業分担金	0	0	0	—
	個別排水事業分担金	0	400,000	△ 400,000	△ 100.0
	生活排水施設事業分担金	0	0	0	—
	計	0	2,078,150	△ 2,078,150	△ 100.0
過 年 度 分	公 共 下 水 道 負 担 金	10,645,390	10,716,390	△ 71,000	△ 0.7
	特定環境保全公共下水道負担金	12,492,580	12,517,580	△ 25,000	△ 0.2
	農業集落排水事業分担金	5,876,000	5,876,000	0	0.0
	小規模集合排水事業分担金	449,600	449,600	0	0.0
	個別排水事業分担金	283,000	283,000	0	0.0
	生活排水施設事業分担金	0	0	0	—
	計	29,746,570	29,842,570	△ 96,000	△ 0.3
合 計	29,746,570	31,920,720	△ 2,174,150	△ 6.8	

下水道使用料未収金状況

(単位：円・%)

区 分		年 度		対前年度比	
		R 4	R 3	増 減	増減率
現 年 度 分	公 共 下 水 道 使 用 料	20,227,444	21,176,299	△ 948,855	△ 4.5
	特定環境保全公共下水道使用料	19,159,736	21,230,670	△2,070,934	△ 9.8
	農 業 集 落 排 水 使 用 料	3,490,144	3,419,192	70,952	2.1
	小 規 模 集 合 排 水 使 用 料	38,299	44,201	△ 5,902	△ 13.4
	個 別 排 水 使 用 料	737,341	768,058	△ 30,717	△ 4.0
	生 活 排 水 使 用 料	509,145	548,126	△ 38,981	△ 7.1
	計	44,162,109	47,186,546	△3,024,437	△ 6.4
過 年 度 分	公 共 下 水 道 使 用 料	2,463,215	2,314,771	148,444	6.4
	特定環境保全公共下水道使用料	788,693	979,071	△ 190,378	△ 19.4
	農 業 集 落 排 水 使 用 料	860,596	872,405	△ 11,809	△ 1.4
	小 規 模 集 合 排 水 使 用 料	0	8,767	△ 8,767	△100.0
	個 別 排 水 使 用 料	5,868	4,878	990	20.3
	生 活 排 水 使 用 料	0	0	0	—
	計	4,118,372	4,179,892	△ 61,520	△ 1.5
合 計		48,280,481	51,366,438	△3,085,957	△ 6.0

令和4年度末現在の下水道負担金・分担金の未収金は、2,974万円で前年度と比べると217万円（6.8%）減少している。また、下水道使用料の未収金は、4,828万円で前年度と比べると308万円（6.0%）減少している。

## (4) 財政状況

《資産の部》

(単位：円・%)

年度 科目	R 4		R 3		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
固定資産	39,017,979,459	98.0	40,260,069,732	98.4	△1,242,090,273	△ 3.1
有形固定資産	38,423,989,502	96.5	39,645,941,154	96.9	△1,221,951,652	△ 3.1
土地	779,982,375	2.0	779,982,375	1.9	0	0.0
建物	1,349,855,688	3.4	1,393,922,010	3.4	△ 44,066,322	△ 3.2
構築物	34,125,926,638	85.7	35,080,897,192	85.7	△ 954,970,554	△ 2.7
機械及び装置	2,137,499,577	5.4	2,357,180,929	5.8	△ 219,681,352	△ 9.3
車両運搬具	16,711,800	0.0	19,105,129	0.0	△ 2,393,329	△12.5
工具器具及び備品	14,013,424	0.0	14,853,519	0.0	△ 840,095	△ 5.7
投資その他の資産	593,989,957	1.5	614,128,578	1.5	△ 20,138,621	△ 3.3
投資有価証券	200,575,500	0.5	200,805,700	0.5	△ 230,200	△ 0.1
基金	373,220,495	0.9	393,128,916	1.0	△ 19,908,421	△ 5.1
建設基金	63,297,140	0.2	83,221,056	0.2	△ 19,923,916	△23.9
償還基金	309,923,355	0.8	309,907,860	0.8	15,495	0.0
その他投資	20,193,962	0.1	20,193,962	0.0	0	0.0
流動資産	791,140,951	2.0	662,447,795	1.6	128,693,156	19.4
現金預金	691,177,832	1.7	567,456,323	1.4	123,721,509	21.8
未収金	93,563,119	0.2	89,901,472	0.2	3,661,647	4.1
未収金	116,931,484	0.3	109,719,279	0.3	7,212,205	6.6
貸倒引当金	△ 23,368,365	△0.1	△ 19,817,807	△0.0	△ 3,550,558	17.9
前払金	6,400,000	0.0	5,090,000	0.0	1,310,000	25.7
資産合計	39,809,120,410	100.0	40,922,517,527	100.0	△1,113,397,117	△ 2.7

《負債及び資本の部》

(単位：円・%)

年度 科目	R 4		R 3		対前年度	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
固定負債(企業債)	10,696,648,938	26.9	12,208,628,741	29.8	△1,511,979,803	△ 12.4
流動負債	1,851,267,091	4.7	1,781,068,467	4.4	70,198,624	3.9
企業債	1,625,410,422	4.1	1,637,017,847	4.0	△ 11,607,425	△ 0.7
未払金	214,926,669	0.5	136,080,620	0.3	78,846,049	57.9
前受金	3,200,000	0.0	0	0.0	3,200,000	皆増
引当金(賞与引当金)	7,730,000	0.0	7,970,000	0.0	△ 240,000	△ 3.0
繰延収益	13,406,236,441	33.7	13,881,183,593	33.9	△ 474,947,152	△ 3.4
長期前受金	28,056,652,279	70.5	28,038,720,143	68.5	17,932,136	0.1
長期前受金収益化累計額	△14,650,415,838	△36.8	△14,157,536,550	△34.6	△ 492,879,288	3.5
資本金	15,431,154,125	38.8	14,589,877,625	35.7	841,276,500	5.8
自己資本金	15,431,154,125	38.8	14,589,877,625	35.7	841,276,500	5.8
固有資本金	5,440,829,625	13.7	5,440,829,625	13.3	0	0.0
繰入資本金	9,990,324,500	25.1	9,149,048,000	22.4	841,276,500	9.2
剰余金	△1,576,186,185	△ 4.0	△1,538,240,899	△ 3.8	△ 37,945,286	2.5
資本剰余金	605,495,308	1.5	588,384,949	1.4	17,110,359	2.9
国庫補助金	352,430,180	0.9	352,430,180	0.9	0	0.0
県補助金	36,607,643	0.1	36,607,643	0.1	0	0.0
負担金及び分担金	177,218,967	0.4	161,969,987	0.4	15,248,980	9.4
その他資本剰余金	39,238,518	0.1	37,377,139	0.1	1,861,379	5.0
欠損金	2,181,681,493	5.5	2,126,625,848	5.2	55,055,645	2.6
前年度未処理欠損金	2,126,625,848	5.3	2,067,570,680	5.1	59,055,168	2.9
当年度未処理欠損金	55,055,645	0.1	59,055,168	0.1	△ 3,999,523	△ 6.8
負債・資本合計	39,809,120,410	100.0	40,922,517,527	100.0	△1,113,397,117	△ 2.7

資産・負債の総額は398億912万円で、資産の内訳は固定資産が390億1,797万円、流動資産が7億9,114万円である。

また、負債及び資本の内訳は、固定負債が106億9,664万円、流動負債が18億5,126万円、繰延収益が134億623万円、資本金が154億3,115万円、剰余金が△15億7,618万円である。

## (5) む す び

### ① 業務実績について

下水道事業の目的は、公共用水域の水質保全を図り、身近な自然環境に与える負荷を軽減し、快適な生活環境を提供することである。

美作市の下水道事業は、昭和 52 年に美作地域で着手してから毎年整備を進め、その処理区域面積は 1,545ha である。

本年度末における水洗化人口は 23,019 人で前年度と比較すると、水洗化人口は 376 人減少している。年間総処理水量は 2,835,306 m<sup>3</sup>、年間総有収水量は 2,685,721 m<sup>3</sup>であり、前年度と比較すると年間総処理水量は 55,371 m<sup>3</sup>、年間総有収水量は 5,659 m<sup>3</sup>減少している。

下水道会計は平成 21 年度に、経営内容の透明化及び使用料の適正化並びにコスト・管理の縮減を目指して、地方公営企業に移行し、独立採算の形態で事業を運営することとしたが、一般会計からの繰入金は 13 億 3,499 万円（その内、基準外繰入金 2 億 6,735 万円）であり、収益合計の 58.8%を占めているなど、依然として一般会計からの繰入金でまかなわれている。今後も総処理水量が減少し、繰入金が益々増加していくことが考えられることから抜本的な経営改善が必要となっている。

### ① 意見及び指摘事項

下水道事業は、汚水の処理・生活環境の改善及び公共用水域の水質保全という機能を果たす必要がある。現在使用中の施設は耐用年数の経過に伴う老朽化により、維持修繕費の増加が見込まれることから、施設・汚水管の統廃合等を推進し、設備の効率的な維持管理を行い、徹底した経費の削減を図られたい。

また、未水洗世帯に対する水洗化の啓蒙を行い、使用料収入の増収を図るとともに、使用料等の未収金回収事務を強化し、収納率の向上を図られたい。